

教材名： うれしく思えた日から

主題名： 自分のよさを伸ばそう 【個性の伸長】中A-(4)

実践のPOINT

➤ 言語活動の充実

1 ねらい

劣等感を抱いていた主人公が自分の特徴に気づき、夢に向かって生きていく姿を通して、自分の新たな個性に気づき、その良さをさらに伸ばしていこうとする態度を育てる。

2 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

中心とする指導内容は、A「主として自分自身に関すること」の(4)「自分の特徴に気づき、長所を伸ばす」である。「自分のよさを伸ばす」とは、自分の特徴に気づき、長所を伸ばすことである。また、「自分の特徴に気づく」とは、自分の長所にも短所にも気づき、特徴を多面的に捉えることである。自分の長所を伸ばしていくことは自己肯定感の向上や成長を促す意欲に結びつくものであるとともに困難に直面したときの心の支えにもなる。人は、一人として同じ人はいなくて、様々な点で一人一人違っている。自分の特徴を知ることは、他と比べて特に目立つ点に気づくことであり、それには長所も短所も含まれる。両者を知った上でよい所をさらに伸ばし、自分の個性を伸ばすようにするのである。そこで、自分のよさを伸ばし、自分の可能性を広げ、自分らしさを作り出していこうとする態度を育てたいと考える。

(2) 児童のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

～中略～

(3) 使用する教材の特徴や取り上げた意図及び具体的な活用方法

本資料は、自分には何のとりえもないと思っていた主人公が、友達や先生、家族からかけてもらった言葉をきっかけに自分のよさに気づき、伸ばしていくという話である。自分のよさを野球に生かしたいと思った主人公は、厳しい練習にも耐え、1年後には自信を持って夢に向かっていくようになる。自分のよさに気づき、そのよさを伸ばしていこうという気持ちを持てるようになった主人公の心の中にはどんな思いがあったのかを考えさせながら、ねらいとする価値に迫っていくことのできる教材である。

本時の指導にあたっては、まず初めに、「いい所なんて一つもない」と思っていた主人公の気持ちを考

え、劣等感を持っていた主人公に共感させる。そして、家族や友達の言葉で自分のよさに気づき、自信を持って夢に向かって生きていこうという気持ちを持てるようになった主人公の気持ちの変化を捉えさせたい。自分へのふり返りでは、特別活動の時間に考えた「自分のよい所」を、さらに伸ばしていくためにできることを考えさせる。関わり合い学習を取り入れながら、友達同士で伝え合い、共有したり励まし合ったりしながら、自分のよさを伸ばしていこうとする態度につなげていきたい。

今年度の本校の研究主題は、『自己の生き方をみつめる児童の育成～道徳科の研究を通して～』である。研究主題にせまるために、自分へのふり返りの時に、自分の今までの生活を見つめ整理したり、友達の考えと比較して考えさせたりして、自己の生き方を見つめられるように価値をより深めていきたい。

3 学習指導過程

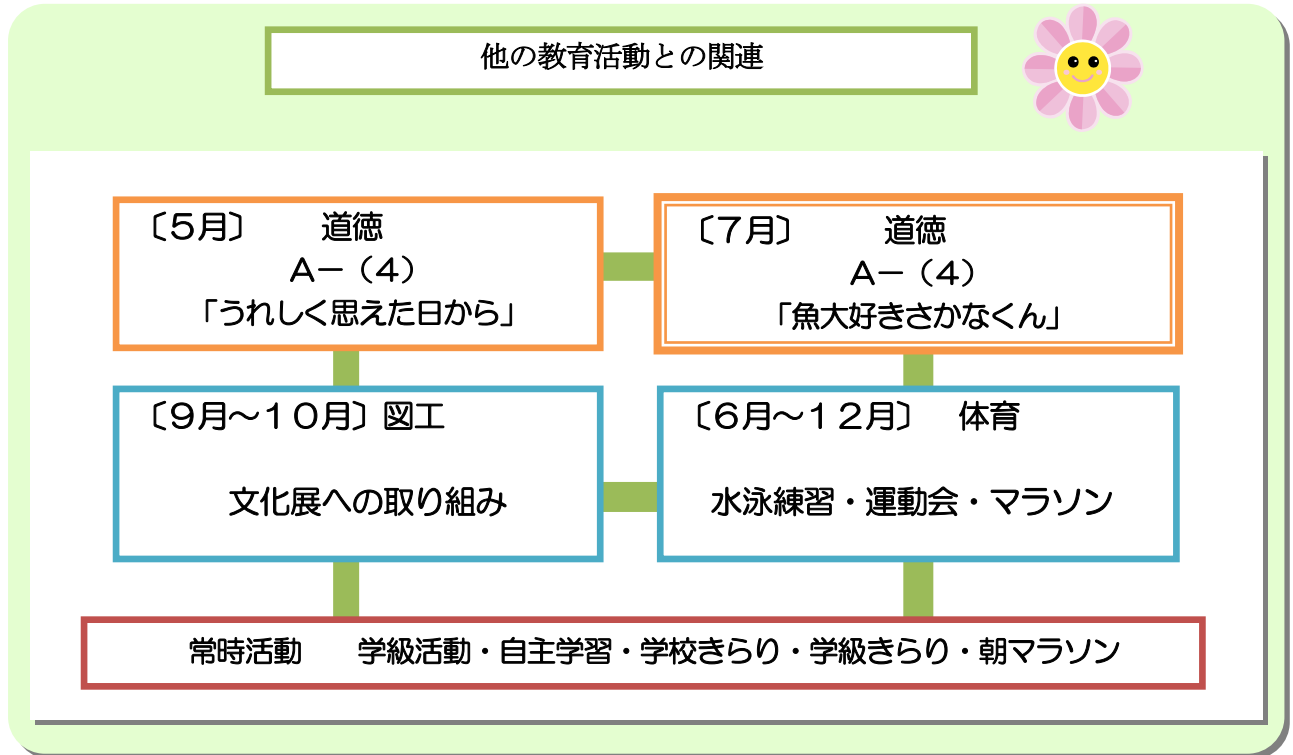
	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○)
導入	1. 自分のよい所を紹介し合う。	○自分のよい所はどんな所ですか。 ・走るのが速い。 ・水泳がとくい。 ・弟の世話ができる。	○学級活動で考えた「自分のよい所」を思い出させ、よい所に目を向けさせる。
展開	2. 「うれしく思えた日から」を読んで話し合う。 (1) 「いい所なんて一つもない」と思っていた主人公の気持ちを考える。 (2) 「いいかたをしてるね」と言われた主人公の気持ちを考える。 (3) 「もう一年前のぼくじゃない」と思っている今の主人公について考える。 3. 自分のよい所をさらに伸ばすためにできることを考える。	○「いい所なんて一つもない」と思っていた主人公はどんなことを考えていたでしょう。 ・自分に自信がない。 ・みんなのようになりたい。 ・どうしてできないのかな… ○「いいかたをしてるね」とほめられて、どんなことを思ったでしょう。 ・ぼくにもいい所があったんだ。 ・ほめてくれて、うれしい。 ◎「もう一年前のぼくじゃない」と、主人公はどんな気持ちで言っているでしょう。 ・友達に褒めてもらい、自信ができた。 ・自分にもいい所があると思えるようになってうれしい。 ・苦手なことができるようになってよかった。 ・もっと練習してできるようになりたい。 ○自分のよい所をさらに伸ばすために取り組んでみたいと思うことを書いてみましょう。 ・水泳がもっと上手になるように、しっかり練習する。 ・友達だけでなく、下級生にも優しくする。 ・もっと自主学習に進んでがんばりたい。	○主人公の劣等感や自信のなさに共感させる。 ○主人公の気持ちの変化を捉えさせる。 ○友達や家族の言葉で自分のよい所に気づき、前向きに自信を持って生きていけるようになった主人公の気持ちをワークシートに書かせて考えさせる。 ○自分の今までの生活を振り返りながら書き、グループで伝え合わせる。
終末	4. 人生の先輩からのメッセージを読む。	○今日の勉強を振り返りながら、映像を見ましょう。みんなにはよい所が必ずあるのですよ	○映像を見せ、余韻を残して終わる。

【評価】 ○自分のよい所をさらに伸ばすために取り組んでみようと思うことについて考えをまとめている。
(発言・カード)

○準備物 わたしたちの道徳・場面絵・ワークシート・カード・先輩からのメッセージ（映像）

授業の視点

- ①本時の目標（ねらい）は達成されたか。
- ②指導内容、内容項目の視点に基づいた資料分析がなされているか。
- ③発問の工夫と指導過程の工夫があるか。
- ④価値理解・他者理解・自己理解を促す工夫があるか。



板書計画

